

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-212861(P2003-212861A)

【公開日】平成15年7月30日(2003.7.30)

【出願番号】特願2002-12838(P2002-12838)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 239/46

C 0 7 C 253/02

C 0 7 C 253/30

C 0 7 C 255/36

C 0 7 C 255/37

C 0 7 C 255/38

C 0 7 C 255/41

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 D 239/46

C 0 7 C 253/02

C 0 7 C 253/30

C 0 7 C 255/36

C 0 7 C 255/37

C 0 7 C 255/38

C 0 7 C 255/41

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月19日(2005.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

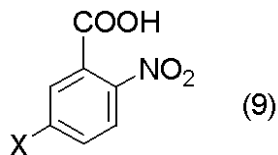
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

一般式(1)で表される化合物が、一般式(9)

【化8】



[式中、Xはハロゲン原子を表す。]

で表される化合物と、一般式(5)

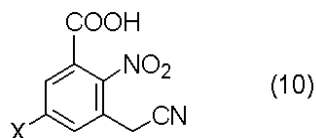
【化9】



[式中、Zはハロゲン原子、置換フェノキシ基、又は(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>NCS<sub>2</sub>を表す。]

で表される化合物とを反応させて、一般式(10)

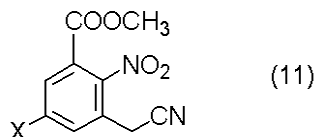
## 【化 1 0】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

で表される化合物とした後、一般式 ( 1 0 ) で表される化合物をメチル化剤でメチル化して一般式 ( 1 1 )

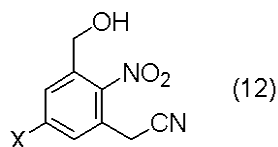
## 【化 1 1】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

で表される化合物とした後、一般式 ( 1 1 ) で表される化合物を還元して一般式 ( 1 2 )

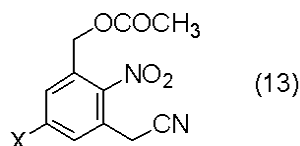
## 【化 1 2】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

で表される化合物とし、一般式 ( 1 2 ) で表される化合物をアセチル化して一般式 ( 1 3 )

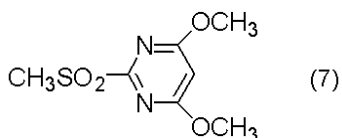
## 【化 1 3】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

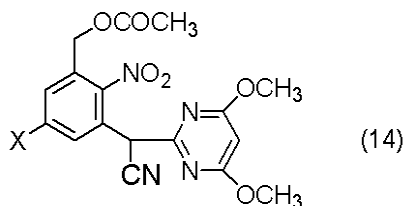
で表される化合物とし、一般式 ( 1 3 ) で表される化合物を式 ( 7 )

## 【化 1 4】



で表される化合物と反応させて、一般式 ( 1 4 )

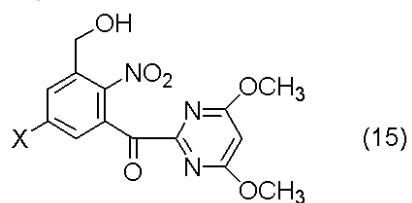
## 【化 1 5】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

で表される化合物とした後、一般式 ( 1 4 ) で表される化合物を酸化して、一般式 ( 1 5 )

## 【化 1 6】



[ 式中、X は前記と同じ意味を表す。 ]

で表される化合物とし、さらに一般式 ( 1 5 ) で表される化合物をアルキル化剤でアルキル化することにより製造されたものである、請求項 1 記載のピリミジニルアルコール誘導体の製造方法。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

## 【化 3 2】

